

第4回 ミュージアム連携ワークショップ in 大阪

公開講座：農地がもつ自然環境機能の活かし方を考える

開催趣旨

私たちの生活の身近にある農地には、食糧生産だけでなく、多様な生物の棲み場、美しい景観の形成、大雨貯留による減災など、求められる機能は多様化し、その期待はますます大きくなっています。博物館、大学の専門家等とともに、ため池、水路、田畑のもつ役割と質の向上について考えるワークショップを開催します。

■日時：2018年9月1日(土) 13:30～16:30

■場所：大阪市立自然史博物館（講堂）

■参加費：無料（どなたも自由に参加できます）

ただし、博物館への入場料 ¥300、資料代 ¥1,000

が別途必要となります。^{注)}

（懇親会 ¥5,400、参加される方は事前の申し込みをお願いいたします）

注) 自然史博物館には、花と緑と自然の情報センターのゲートから入館できます。博物館の入場券（植物園も入れます）（大人 300 円、中学生以下、市内在住の 65 歳以上は無料）を買って下さい。

情報センターの2階のネーチャーホールでは、特別展「きのこ！キノコ！木の子！～きのこから眺める自然と暮らし～」開催中です。特展の入場料は 500 円ですが、博物館などとのセット券 700 円もあります。特展をのんびりになる方は、1 時間以上早めのご来館をおすすめします。

■CPD：3.0（建設コンサルタンツ協会 CPD 認定プログラム（申請中））

■プログラム

◇ 13:00～ 受付開始

◇ 13:30 開会

◇ 13:30～13:35 趣旨説明

◇ 13:35～14:15 基調講演（40 分）

農地が有する多面的機能の創出と維持 大阪府立大学助教 工藤庸介

-----（休憩 10 分）-----

◇ 14:25～15:15 話題提供（各 20 分）

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」における植物の多様性の保全 静岡大学教授 稲垣栄洋
魚類にとっての水田・水路・ため池の役割とその保全 琵琶湖博物館学芸員 金尾滋史

-----（休憩 10 分）-----

◇ 15:25～16:30 総合討議、総括

（進行） 大阪府立大学教授 藤原宣夫

◇ 16:30 閉会

※（18:00～ 懇親会：長居周辺）

（敬称略）

■申し込み方法

下記申し込み先に、所属、お名前、連絡先を添えてお申込みください。申し込み期限は8月24日(金)です。一般にも公開します。当日参加も可能ですが、資料準備の関係もありますので、できるだけ事前にお申し込みください。懇親会は料理の準備の都合で、必ず事前の申し込みをお願いします。

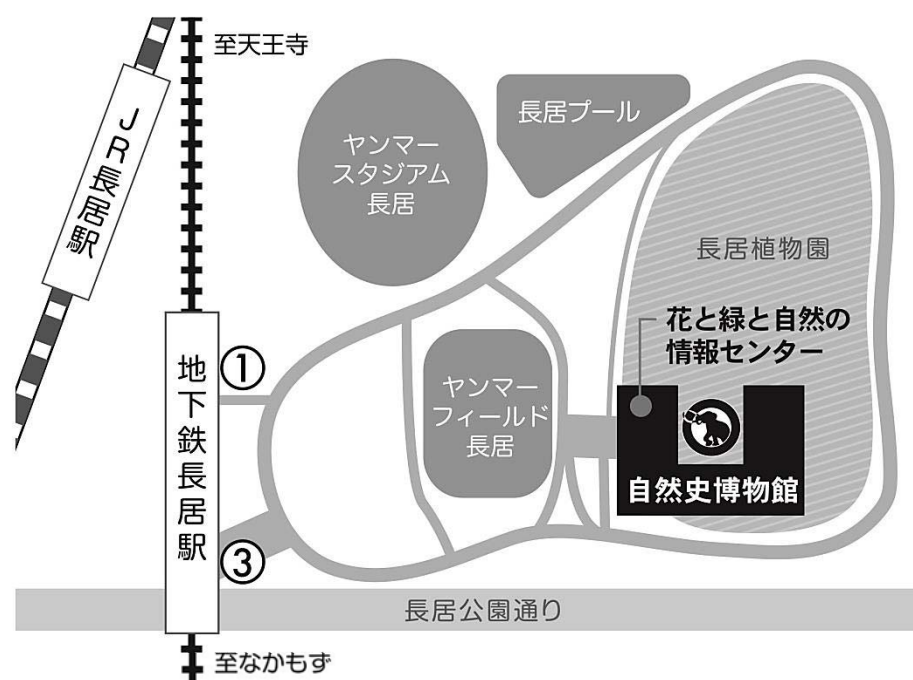
ミュージアム連携ワークショップ in 大阪 事務局

応用生態工学会大阪 代表 渡辺敏

（株式会社ウエスコ関西支社環境計画事業部内）

e-mail：s-watanabe @ wesco.co.jp

TEL：06-6943-1520



主催：応用生態工学会 大阪

共催：大阪市立自然史博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、きしわだ自然資料館、神戸市立須磨海浜水族園、兵庫県立人と自然の博物館

後援：建設コンサルタンツ協会近畿支部